

大森北周辺 エコ交通マップ

凡例

- 名鉄
- 市バス
- ゆとりーとライン
- あさび一号
- バス停(屋根あり)
- バス停
- 公共施設
- 教育施設
- 警察署・交番
- 郵便局

⚠ 要注意箇所

② 八竜湿地

この湿地には、世界でも貴重な「東海丘陵要素植物群」が分布。名古屋大学・金城大学・地域ボランティア(水源の森と八竜湿地を守る会)の協働により保全されている。この湿地の観察会が春・秋の各3回開催されている。



⑤ 八剣神社

祭神は須左之男命・日本武尊・天火明命。延暦12年(793)、この地域の支配者山田の連が北八剣の地に創建。その後、矢田川と天神川の合流地の中町田へ移設されるも、度々の風水害を受けたため、昭和2年(1927)拝殿まで石段を143段も登る高地の現在地に遷座。10月第3日曜日の例大祭に「棒の手」が奉納される。



① 八龍神社

古墳の墳頂に祠を祀り、古来よりこの地域では「雨乞いの神様」として信仰されてきた。昭和初めに社殿が、昭和14年に鳥居が建立された。



③ 桜並木



④ 交通安全地蔵

昭和23年1月5日、堀川方面に向かう現名鉄瀬戸線の2両編成急行電車が脱線転覆し、死者36人・重軽傷者154人の大惨事となった。その犠牲者の慰霊のために建てられた地蔵。



⑥ 大森寺

本尊は阿彌陀如来、宗派は浄土宗。寛永11年(1634)、光友は生母乾の方の菩提を弔うために小石川伝通院内に一寺を建立し、観喜院と称した。寛文元年(1661)、尾張二代藩主となった光友は生母の故郷大森の地に院を移し、信譽大庵和尚を開山として大森寺に改めた。中門の山号(興日山)の額は光友の直筆。明治8年、建物は焼失したが、本尊は難を免れた。乾の方の墓(宝篋印塔)は本尊裏手にある。寺院内への立ち入りは不可。



⑦ 法輪寺

本尊は釈迦如来、宗派は曹洞宗。創建は古く、元郷にあった寺名が正宗庵(尼寺)とされ、天文3年(1534)大雲永瑞和尚が再建して正法寺に改号。寛文2年(1662)に現在地に移り、安永3年(1774)現在の寺名に、改号した。山門脇に、源義経の家臣佐藤継信・忠信兄弟と母親の石塔(供養塔)がある。



⑧ 斎穂社・千手観音

祭神は大年神。天武天皇の白鳳5年(676)、秋の神嘗祭にあたり、斎田(神に供える米を栽培する田)が尾張国山田庄(尾張旭市印旛波川)に設けられた。収穫した稲穂を献上のために精選する場所が斎穂社。境内には享保2年(1717)の銘の千手観音と棒の手「検藤流之碑」がある。



⑨ 郷蔵

江戸時代に字ごとに設置された年貢米・備蓄穀物を保管するための共同の穀物倉庫を郷蔵と呼んだ。大森字中之島の郷蔵には現在、共有の祭礼の道具が収められている。入り口の戸が竹で作られ、昔の姿を留めている。

